

6年1組 道徳学習指導案

場所 6年1組 教室

授業者

- 1 主題名 ボランティアの意義
- 2 内容項目 C 勤労、公共の精神
- 3 教材名 「広村堤防の清掃ボランティア」＜出典：光文書院＞
- 4 主題構成表

<p>■内容項目</p> <p>C 勤労、公共の精神 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「勤労、公共の精神」とは、仕事に対して誇りや喜びをもち、働くことや社会に奉仕することの充実感を味わい、働くことの意義を自覚し、進んで公共のために役立つことに関する内容項目である。 ・高学年においては、仲間と協力して学ぶことの楽しさを通して、汗を流すことの尊さや満足感、仕事を成し遂げた際の喜びや手応えなど、働く意義や社会に奉仕する喜びを児童一人一人に体得させ、進んで実践しようとする意欲や態度を養うことが大切である。 ・本学級においては、責任感はあるが、仕事は与えられるものであると考える児童が一定数いる。ボランティアは、公共の役に立つことであり、また、自分が充実感を得たり、思いや伝統を受け継いだりする意義もあることに気付かせ、学校や社会のためにできることを進んで行おうとする心を育てたい。 	<p>■教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五月のごみ拾いの日に、「ぼく」が広村堤防の清掃ボランティアに参加していた場面から、消極的な気持ちで清掃ボランティアに参加する「ぼく」の気持ちに共感させることで、多様な考え方や感じ方に気付かせ、自分の強い思いに気付かせたい。 ・清掃ボランティアに参加していたおばあさんの話を聞いた「ぼく」が、ボランティアについてもう一度考え、「こども 梧陵ボランティア」を始めた場面から、「ぼく」が自分にできることを進んで考え、新しいボランティアを始めたことに気付かせたい。また、ボランティアをすることによって、公共の役に立つことができるとともに、自らに充実感をもたらす成長させたり、思いや伝統を受け継いだりすることができるという価値の把握につなげたい。
<p>■内容項目から見た児童の実態(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級は全体的に働き者な児童が多く、自分の係や委員会の仕事は「やらなければいけない」と考え、責任をもって取り組むことができる。しかし、「仕事は与えられるものである」と考える児童が多く、ボランティアなど自主的に行う活動については、「自分の仕事ではないからやらなくてよい」と考え、ほとんど参加することがない児童もいる。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをすることが、社会の役に立ち、自分の充実感につながったり、自分を成長させたりすることにつながると気付いていない。ボランティアをすることが社会のためになるとともに、自らのためにもなるということに気付いていないことが、ボランティアに対する消極的な姿勢につながっていると考えられる。 		

■ねらい
ボランティアは、公共の役に立つことであり、また、思いや伝統を受け継いだり、自分が充実感を得たりする意義もあることに気付き、学校や社会のためにできることを進んで行おうとする心情を育てる。

<p>■展開構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消極的な気持ちで清掃ボランティアに参加する「ぼく」の気持ちに共感させることを通して多様な考え方や感じ方に気付かせ、自分の強い気持ちに気付かせる。 ・広村堤防を大切に思うおばあさんの思いを知り、自分ができることを「ぼく」が進んで考え、新しいボランティアを始めたことに気付かせ、価値の把握につなげる。 ・これまでの生活を振り返り、学校や地域のために、進んでボランティア活動について考え、行おうとする意欲を高める。 	<p>■基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ぼく」がボランティアをしたことで、よくないなあと思うところやよくなったなあと思うところはどんなところですか。 ○5月のごみ拾いのとき、「ぼく」はどんな気持ちで清掃ボランティアをしていたと思いますか。 ◎「ぼく」が「こども 梧陵ガイド」のボランティアを始めることにしたのはどうしてだと思いますか。 ○「以前とはちがう気持ち」とはどんなことに気付いたと思いますか。 ○これまでの自分のボランティアに取り組む姿と、今日学んだボランティアのよさを照らし合わせて、自分の生活を振り返りましょう。
---	--

5 他の教育活動との関連

【学級活動】

- ・学級の願いの共有・学級目標づくり
- ・委員会や生活班など、仲間との活動

【道徳科】(本時)
「広村堤防の清掃ボランティア」

【巣立ち活動】

- ・学校への感謝の気持ちを持ち、主体的に活動を計画し行っていく。

【感謝の会】

- ・南小の伝統を引継ぎ、学校のために進んで活動したいという思いを下級生につなぐ。

6 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. アンケートの結果をもとに、ボランティアの意義について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域をきれいにすることができる。 ・困っている人を助けることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ボランティアをすることのよさについて考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの結果から、課題化を行う。
展開前段	<p>2. 「広村堤防の清掃ボランティア」の範読を聞き、ボランティアをすることのよさについて考える。</p> <p>○「ぼく」がボランティアをしたことで、よくないなあと思うところやよくなったなあと思うところはどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月のごみ拾いのとき、嫌々やっているのはよくない。 ・「こども 梧陵ガイド」をするようになったのは、前向きにやっているのよくなった。 <p>○5月のごみ拾いのとき、「ぼく」はどんな気持ちで清掃ボランティアをしていたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めんどくさいなあ。 ・早く終わらないかなあ。 ・なんでこんなことしなければいけないのだろう。 ・みんながやっているから適当にやればいい。 <p>◎「ぼく」が「こども 梧陵ガイド」のボランティアを始めることにしたのはどうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんの話を聞いたから。 ・おばあさんに感謝されたのがうれしかったから。 ・広村堤防が町の宝物だと分かったから。 ・人の役に立っているのが分かり、進んでボランティアに取り組みたいと考えたから。 <p>○「以前とはちがう気持ち」とはどんなことに気付いたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをすることで町の宝物である広村堤防を大切にしたいという気持ちを受け継ぐことができる。 ・活動を通して自分を磨くことができる。 ・自分にできることを進んで考えてボランティア活動をしたい。 ・お客さんが喜んでくれてうれしい気持ちになり、充実感につながる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・思いを受け継ぐことができる。 ・自分を成長させることにつながる。 ・人の役に立つことができる。 ・それによって自分がうれしい気持ちになる(充実感がもてる)。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の場面設定や語句について補足説明する。 ・教材を範読する前に人間理解や価値理解の場面を見つける視点を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・清掃ボランティアの活動を負担に感じ、消極的にボランティアに取り組む「ぼく」の気持ちに共感させる中で、多様な考え方や感じ方に気付かせ、仲間の考え方や感じ方と比べて、強い気持ちに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・広村堤防を大切に思うおばあさんの思いを知り、自分ができることを「ぼく」が進んで考え、新しいボランティアを始めたことに気付かせる。 <p>深めの発問</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○おばあさんはどんな思いでボランティアに取り組んでいると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広村堤防は町の宝物だから大切にしたい。 ・お礼を言われるとうれしい。 ・小学生の子たちが一緒にボランティアをしてくれてうれしい。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方や感じ方を板書で整理し、自分の考えの他になるほどと思うものはどれかと問いかけ、考え、議論する。
展開後段	<p>3. 価値把握をもとに、自分の生活を振り返る。</p> <p>○これまでの自分のボランティアに取り組む姿と、今日学んだボランティアのよさを照らし合わせて、自分の生活を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、ボランティアはただ人の役に立つために行うものだと思っていたけど、今日の学習を通して、ボランティアをして人の役に立つことで自分も充実感をもてたり、自分を高めたりすることにつながると考えられるようになった。 ・これまでは、ボランティアは人のためにすることだからやらされているような感じがしていたけど、ボランティアをして人の役に立つことで充実感をもてたり、自分を高めたりすることにつながるとわかって、自分のためになる部分もあるのだと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をもとに、これまでのボランティアに対する考えを振り返り、ボランティアが進んでできない課題を見つめるようにする。
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。(厚生産業の方の話)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動(ごみ拾いのボランティア)を行う企業の方の話から、人の役に立つことで充実感を感じ、進んでボランティア活動を考え、行っていこうとする意欲につなげる。